

I 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

この調査は、府民の身体状況、栄養摂取状況及び生活習慣状況を明らかにし、府民の健康増進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査対象及び客体

府内（京都市域を含む）の世帯及びその世帯員を調査対象とし、無作為抽出した68単位区の地区内の世帯（約2,000世帯）及びその世帯員（約6,000人）を客体とする。

なお、調査客体には、平成25～26年国民健康・栄養調査の調査対象として指定された世帯及びその世帯員を含む。

3 調査項目及び実施時期

(1) 調査項目

本調査は身体状況調査、栄養摂取状況調査及び生活習慣調査からなり、調査項目は下記のとおりである。

ア 身体状況調査

- (ア) 身長・体重……満1歳以上全員
- (イ) 腹囲……満20歳以上全員
- (ウ) 血圧：収縮期(最高)血圧、拡張期(最低)血圧……満20歳以上全員
- (エ) 1日の運動量（歩行数）……満20歳以上全員
- (オ) 血液検査……満20歳以上全員
ヘモグロビンA1c、総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール
- (カ) 問診……満20歳以上全員
 - ① 服薬状況
血圧を下げる薬、脈の乱れを治す薬、インスリン注射または血糖を下げる薬、コレステロールを下げる薬、中性脂肪（トリグリセリド）を下げる薬
 - ② 糖尿病指摘・治療の有無
 - ③ 運動習慣
医師からの運動禁止の有無、1週間の運動日数、運動を行う日の平均運動時間、運動の継続年数

イ 栄養摂取状況調査

- (ア) 世帯の状況……満1歳以上全員
性別、生年月日、妊婦（週数）・授乳婦別、仕事の種類
- (イ) 食事の状況……満1歳以上全員
家庭食、調理済み食、外食、給食、その他の区分
- (ウ) 食物摂取状況……満1歳以上全員
料理名、食品名、使用量、廃棄量、世帯員ごとの案分比率

ウ 生活習慣調査……満15歳以上全員【アンケート調査】

食生活、身体活動・運動、休養（睡眠）、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般

(2) 調査時期

平成28年10～11月中の1日

（ただし、栄養摂取状況調査は、日曜及び祝日を除いた1日）

4 調査客体の概要

(1) 調査対象世帯員数と回収状況

調査項目	調査対象世帯員数(人)	回収世帯員数(人)	回収率(%)
身体状況調査	2 5 4 2	8 8 5	3 4 . 8
栄養摂取状況調査	2 5 4 2	1 0 2 5	4 0 . 3
生活習慣調査	4 7 2 7	2 7 4 4	5 8 . 0

※ 全問無回答者を除く

(2) 調査項目・年齢階級別の状況

ア 身体状況調査

年齢階級 性別	1-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上	合計
男性	6 9	1 4	2 1	3 6	6 1	4 4	6 9	9 6	4 1 0
女性	4 3	2 1	2 5	5 2	8 5	4 9	9 3	1 0 6	4 7 4
総数	1 1 2	3 5	4 6	8 8	1 4 6	9 3	1 6 2	2 0 2	8 8 4

※平成 25・26 年国民健康・栄養調査結果データを含む

イ 栄養摂取状況調査

年齢階級 性別	1-5 歳	6-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上	合計
男性	2 8	6 0	2 6	3 2	4 3	6 7	5 5	8 1	1 0 2	4 9 4
女性	2 5	4 3	2 1	3 4	5 4	8 8	5 3	1 0 0	1 1 3	5 3 1
総数	5 3	1 0 3	4 7	6 6	9 7	1 5 5	1 0 8	1 8 1	2 1 5	1 0 2 5

※平成 25・26 年国民健康・栄養調査結果データを含む

ウ 生活習慣調査

年齢階級 性別	1-5 歳	6-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上	合計
男性			7 5	9 2	1 3 1	2 5 7	1 8 1	2 4 6	3 1 8	1 3 0 0
女性			6 7	9 4	1 6 2	2 4 0	1 8 5	2 9 1	3 9 0	1 4 2 9
総数			1 4 2	1 8 6	2 9 3	4 9 7	3 6 6	5 3 7	7 0 8	2 7 2 9

5 調査要領

(1) 調査機関

府健康対策課が 調査の企画立案を行い、京都市を除く市町村域については、調査地区を管轄する保健所が調査を実施した。

(2) 調査票の様式

- ア 身体状況調査・・・別添参照
- イ 栄養摂取状況調査・・・別添参照
- ウ 生活習慣調査・・・別添参照

(3) 調査方法

ア 身体状況調査

身体状況調査の実施会場において、調査対象者に対し保健師等が調査項目の計測及び問診を実施した。なお、血液検査の分析は業者に依頼した。

イ 栄養摂取状況調査

調査員である管理栄養士等が調査対象世帯を訪問して、世帯の代表者または食事づくり担当者に面接の上、調査票の記入方法を説明した。世帯の代表者等は、

摂取した食品の秤量（使用量が少なく秤量が困難なもの等については目安量）を世帯の各構成員ごとに調査票に記録した。

また、調査員である管理栄養士等は記入状況を点検するとともに、不備な点の是正等にあたった。

ウ 生活習慣調査

アンケート調査（留め置き法による自記式質問票調査）を実施した。

栄養摂取状況調査票と併せて配布し記入方法を説明した。15歳以上を対象とした調査票を原則被調査者本人が記入することにより実施した。

(4) 調査に関する秘密の保持

この調査は、心身の状態や生活習慣等について具体的な情報を取り扱い、多数の関係者が携わるといふ特色を有することから、総務省届出統計調査に位置付けるとともに、調査対象者に係る情報の取扱いについては京都府統計調査条例を遵守して、その秘密保持に万全を期した。

6 調査の集計及び作表

(1) 調査票の整理・審査

各保健所において、栄養摂取状況調査票については食各世帯が記入した食品名及び使用量（廃棄量）を点検後、栄養計算ソフト「食事しらべ 2016」に入力し、身体状況調査及び生活習慣調査については、回答項目の点検を行った。

(2) 集計及び作表

一般競争入札により業者に委託した。

7 本書利用上の留意点

(1) 栄養素等摂取量の算出

「日本食品標準成分表 2010（科学技術庁資源調査会、現文部科学省資源室）」（以下「成分表 2010」という。）を使用した。

栄養素等摂取量は調理後の成分値が成分表 2010 に記載されている食品名は、これを用いた。また、その他の食品については、成分表 2010 に記載されている調理による「重量変化率」を加味して算出した。

(2) 食品群分類

食品群分類は、参考資料 食品群別表のとおりである。

(3) 平均栄養摂取量

栄養摂取状況調査の結果は、調査対象者総数の総摂取量を平均して、1人1日当たりとして算出したものである。

(4) 食事内容

次の区分により集計した。

ア 家庭食

家庭で作った食事や弁当を食べた場合。

イ 調理済み食

すでに調理されたものを買ってきたり、出前をとって家庭で食べた場合。

ウ 外食

飲食店での食事や家庭以外の場所で出前をとったり市販のお弁当を買って食べるなど家庭で調理せず、食べる場所も家庭ではない場合

エ 給食

保育所・幼稚園給食（教職員は職場給食）

学校給食（教職員は職場給食）

オ 職場給食（社員食堂を含む）

カ 菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみ食べた場合

キ 錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラル、栄養ドリンク剤のみの場合

ク 何も口にできなかった場合

ケ 調査不能

(5) 血圧の分類

	収縮期(最高)血圧 (mmHg)		拡張期(最低)血圧 (mmHg)	
至適血圧	120 未満		かつ	80 未満
正常血圧	120 以上 129 未満	かつ/または		80 以上 84 未満
正常高値血圧	130 以上 139 未満	かつ/または		85 以上 89 未満
I 度高血圧	140 以上 159 未満	かつ/または		90 以上 99 未満
II 度高血圧	160 以上 179 未満	かつ/または		100 以上 109 未満
III 度高血圧	180 以上	かつ/または		110 以上
収縮期高血圧	140 以上	かつ		90 未満

結果図表中の数値は、2回の測定値の平均値。

(「日本高血圧学会(2014年)による血圧の分類」より)

(6) 肥満の判定

ア 15歳以上

BMI (Body Mass Index, 次式) を用いて判定した。

$$BMI = \text{体重 (kg)} / (\text{身長 (m)})^2$$

男女ともBMI=22を標準として、肥満の判定基準は下記のとおりである。

判定	低体重 (やせ)	普通	肥満
BMI	18.5 未満	18.5 以上 25.0 未満	25.0 以上

(「日本肥満学会(2011年)による肥満の判定基準」より)

イ 6～14歳

日比式による肥満度判定

実測体重と日比式から求められる標準体重とを比較して判定した。

判定	やせすぎ	やせぎみ	普通	太りぎみ	肥満
肥満度	-20%未満	-20%以上 -10%未満	-10%以上 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上

$$\text{肥満度 (\%)} = (\text{実測体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}) \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

$$\text{標準体重 (kg)} = \text{係数1} \times \text{身長 (cm)}^3 + \text{係数2} \times \text{身長 (cm)}^2 + \text{係数3} \times \text{身長 (cm)} + \text{係数4}$$

性別	係数1	係数2	係数3	係数4
男子	0.0000641424	-0.0182083	2.01339	-67.9488
女子	0.0000312278	-0.00517476	0.34215	1.66406

(参考)

- ・日比逸郎：肥満症．現代小児科学大系第4巻栄養障害と代謝障害，pp.330-343 (1968)中山書店，東京
- ・吉池信男：学童，生徒おける肥満者頻度の経年変化－健康日本21の数値目標と各種指標．栄養学雑誌：58(4)；177-180(2000)

ウ 6～14歳

学校保健統計調査方式による判定

年齢別、身長別標準体重から判定した。

判定	やせ傾向		普通	肥満傾向		
	-20%以下			20%以上		
	高度やせ	軽度やせ		軽度肥満	中等度肥満	高度肥満
肥満度	-30%以下	-30%超 -20%以下	-20%超～ +20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上

$$\text{肥満度 (過体重度)} = (\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}) / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

$$\text{身長別標準体重 (kg)} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

年齢 (歳)	係数			
	男子		女子	
	a	b	a	b
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264

(参考)

- ①財団法人日本学校保健会「児童生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」(2006),
- ②村田光範, 伊藤けい子: 平成14年度厚生労働省厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業 小児の栄養・運動・休養からみた健康度指標とQOLに関する研究 身体活動からみた健康度指標とQOLに関する研究(2003)

(7) その他

本調査結果に掲載している数値は四捨五入のため、内訳合計が総数と合わないことがある。